福祉のひろば

やまだ

もくじ

●事業紹介……2・3
●ボランティアセンター特集……4・5
●福祉団体活動紹介……6
●ありがとうを伝えたい［第２弾］……7
●福祉基金・お問合せ一覧・簡単レシピ……8

2012.9.15

9

No.109

ふれあいネットワーク
社会福祉法人 山田町社会福祉協議会

〒028-1341　岩手県下閉伊郡山田町八幡町３番 20 号　山田町保健・老人福祉センター内
TEL：0193-82-3841　　FAX：0193-82-5670
E-mail：y-shakyo@echna.ne.jp
ホームページ　http://www.echna.ne.jp/~y3841/

［企画・発行］　社会福祉法人　山田町社会福祉協議会　　［印刷］株式会社　東海印刷所

※ 広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

一部を紹介

山田町社会福祉協議会では、様々な地域福祉事業に取り組んでいます。

事業紹介

キャップハンディ体験　～ 伝えることの難しさを学ぶ ～

７月５日（木）、豊間根中学校３学年の生徒を対象にキャップハンディ体験を実施しました。今回は、白杖とアイマスクを使用し、視覚障がい者の疑似体験と一人では外出できない視覚障がい者の歩行の介助や誘導をするガイドヘルプを体験しました。

社会福祉協議会では、自分達に何ができるかを考えるきっかけづくりを目的に、主に小学校・中学校・高等学校の児童、生徒を対象にアイマスク体験、点字体験・白杖体験を実施しています。

ガイドヘルプでは、階段の上り下り、狭い道での歩行や車の乗り降りなどの誘導方法を学びました。安全を確保し、言葉で状況を説明する難しさを実感した生徒達。

キャップハンディ体験とは？

「キャップハンディ体験」とは、「ハンディキャップ」（不利な条件）の前後を入れ替えてつくられた言葉で、「立場を入れ替えて考えよう」という気持ちがこめられた言葉です。キャップハンディ体験学習は、ハンディキャップを持った人の状況を擬似体験することで、ハンディキャップのある人の置かれている状況や環境、障害に対する理解を深めるねらいで行われる活動です。

ふれあい給食サービス　～ 美味しく食べて 楽しい会話 ～

社会福祉協議会では、65 歳以上の一人暮らし、高齢者世帯等で、調理が困難、食事に欠ける状況にある方へ、週に一回お弁当を配達しながら安否確認を行う配食サービスを行っています。（料金は１食 500 円）

［配達曜日］　●火曜日 … 船越・織笠地区　●水曜日 … 山田地区　●木曜日 … 大沢・豊間根地区

お弁当の量もちょうど良く美味しく頂いています。配達してくれるボランティアさんとお話しするのが、毎回楽しみです。
［岡田 繁 さん］

何か自分にできることからと思い、徒歩でも配達できるふれあい給食サービスのボランティア活動を始めました。自分より先輩の方々から今まで経験したことのない様々なお話を聞くことができるので、毎回お会いできるのを楽しみです。
［ボランティアさんより］

お弁当献立紹介

- ご飯（梅干付）
- 豚肉の生姜焼き
- 涼坪三絲
- 人参金平
- 厚焼き玉子
- 果物
- 味噌汁

「大浦・船越・間木戸・山の内」いずれかの地区で活動いただける方を募集しています。

［活 動 内 容］高齢者へのお弁当配達と安否確認等
［活 動 日 時］毎週 火・水・木曜日（１日のみ可能）
［お申込み先］山田町社協復興支え愛センター
TEL 0193−77−3262

親子カフェ　～ 親子でHAPPY！ みんなで子育て ～

『TANNA』

親子のふれ合いや母親同士の交流、情報交換の場として、また、リフレッシュできる空間の提供として、おやこカフェ「TANNA」（たんな）を開催しています。

開催曜日と開催時間が変わりました

日時：毎週月曜日から木曜日
9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 15:00
場所：旧山田病院（八幡町）３階　310 号室・311 号室
対象：０歳～６歳までの就学前のお子様とその保護者
託児施設ではありませんので、必ず保護者同伴でご利用願います。
料金：無料です
お子様の離乳食、水分補給のためのお飲み物は、各自でご持参下さい。

［利用方法］
事前に申し込む必要はありません。ご来場いただき会員登録をしていただきます。
３階までスロープがありますので、ベビーカーでお越しいただけます。

折り紙教室　～ みんなで折るから楽しいんです ～

旧山田病院（八幡町）３階にて、毎週金曜日１時半より折り紙教室を開催しています。対象者は、65 歳以上の方。季節を感じる折り紙作品を準備してお待ちしています。９月の作品はコスモスです。（→写真）

参加者の皆さんの感想

- 折り紙は得意ではないけど、少しずつ上達していくのが楽しくて参加しています。もっとたくさんの方に参加してほしいです。
- 折り紙を折るのも楽しいけれど、皆さんとお話できるのが楽しみです。

折り紙教室の様子

折り紙を折るだけではなく、共通の趣味を通して、より多くの人と知り合い会話を楽しむ交流の場を目的に開催しています。

健康教室「さわやかさん」　～ とにかく楽しみだぁ ～

65 歳以上の一人暮らしの男性を対象に、できる限り自立した生活が送れるよう、調理の基本的な技術を学び、今後の生活に役立てる。また、参加者同士の交流を通じて仲間づくりを進め、生きがいの増進を図ることを目的として月に１回開催しています。

朝、10 時のあいさつに始まり、誰でもできる簡単体操に楽しいゲーム、和気あいあいと全員で調理、会食では、料理を頂きながら、世間話から昔話に花が咲き、カラオケでは、それぞれが十八番を披露、片付けを済ませば、また来月に会いましょうと約束し、福祉バスで自宅まで…。
みんなに会える月に１回のこの教室がしみです。もっとたくさんの方に知ってもらいたいと話す参加者の皆さん。

参加申し込みは … 山田町社会福祉協議会　TEL 77−3260 まで　※ 申込みが必要です

特集

ボランティアセンター

災害ボランティアセンターから社協復興支え愛センターへ

あの日（平成 23 年 3 月 11 日 午後 2 時 46 分）から早もので 1 年 6 ヶ月が過ぎました。

発災当初は、「我々は、何をすべきか」全く無知の状態でありましたが、みえ災害ボランティア支援センターや NPO 法人そして、静岡県や長野県社協の皆さんの支援を受けて、ボランティアセンターの開設、運営を行うこととなりました。

社協自体が、日常業務をまったく出来ない中、ボランティアセンター運営やカフェ「よりあいっこ」、お楽しみバス「まぢづけぇ号」の運行など、民生児童委員、老人クラブ連合会、NPO ボランティアさんなどの協力を得て、崩壊したコミュニティ（近隣社会）を再構築し、本来の地域福祉事業に繋げることを視野に入れた事業の展開を行ってきました。

今まで体験したことのない悲しみ、苦しみ、論争、葛藤そして自己嫌悪との戦いでした。そうした中全国から御出で下さいましたボランティア（2 万人余り）の皆様の熱い思いや出会いが、私たちの原動力となりました。

心から感謝であります。今後とも早期の復興と町民の皆様に寧の日々が早く訪れんことを心から願うものであります。

山田町社協復興支え愛センター長　社協事務局長　　福　士　　豊

4月

ボラセン開設

平成 23 年 4 月 9 日、B＆G山田海洋センターを拠点とし「山田町災害ボランティアセンター」を開設。

5月

よりあいっこ始動

5 月からカフェ「よりあいっこ」を試験開催。8 月から本格実施、現在でも開催しています。

6月

お楽しみ広場開催

19 日（日）、親子ふれ合い「お楽しみ広場」を開催。屋台や映画を楽しむ人達で賑わいました。

7月

ボランティア数ピーク

1 ヶ月で約 4,000 人とボランティアの人数がピークに！主にガレキ撤去清掃の活動を行いました。

12月

12 月 1 日から
…共に復興を目指すため名称変更

「山田町災害ボランティアセンター」から
「山田町社協復興支え愛センター」へ

拠点もＢ＆Ｇ山田海洋センターから
旧山田病院（八幡町）３階へ移転

ボランティアの受け入れは、プレハブ（八幡町）で行っています

どんなことするの？

ボランティアセンターの役割は…？

①ボランティアの受付
②ニーズの収集・活動依頼の受付
③活動依頼とボランティア活動を調整
④ボランティアへ資材の貸し出し
⑤現地まで送迎　⑥活動報告受付調整
⑦活動先の事前調査

開設から 7 月 31 日までの

ボランティアの総人数　23,665 人

ボランティア活動件数　3,104 件

開設当初のボランティア活動の大半は、一部倒壊家屋の泥かきや敷地の細かいガレキ撤去清掃が主だった活動でした。他に炊き出し補助、避難所の調理補助、写真洗浄など、住民ニーズに応える様々な活動をしてきました。現在では、荒神海水浴場の砂浜清掃やサマーチャレンジ（子供達の学習支援）などの活動へと活動内容が変わってきました。

ブログの開設

「山田町社協復興支え愛センター公式ブログ～山田社協マンが行く～」を開設しています。リアルタイムで活動の報告やボランティア募集の掲載をしています。みなさんぜひ、ご覧下さい。

http://yamadashakyo.blog.fc2.com/

これからのボランティア活動

支え愛センター（ボランティアセンター）は、住民を主体として、ボランティアの方々と共に支え合いながら、復興を目指す活動を応援させていただきます！また、町内のボランティア育成、振興も目指しています！

次号にもボランティアセンター特集を掲載する予定です。お楽しみに！

支え愛センター所長　阿部 寛之

冬季期間により県外ボランティア受入休止

写真展開催

津波で流され、拾得された写真を持ち主に返す思い出写真展を開催。

海水や泥水で汚れた写真をボランティアの皆さんと丁寧に洗浄。現在でも思い出写真展は開催しています。

詳しくは、情報誌「気がるにボランティア」をご覧下さい。

平成24年 4月

平成 24 年 4 月 1 日より県外からのボランティアの受入を再開！！

集会所や仮設住宅への棚作りや畑の再建、敷地内の清掃作業など、より町民の方へ密着した支援を展開。また、山田町と協同し、「荒神海水浴場の清掃作業」を実施しました。

8月

町民、皆様のニーズに合わせた活動を展開。

ボランティアや各関係機関、支援団体と協力し、ダンス教室や美術教室など子ども達を対象とした「サマーチャレンジやまだ 2012」を実施。たくさんの子供達が参加しました。

福祉団体活動紹介

※山田町社会福祉協議会では、福祉団体の事務運営を行っています。

老人クラブ連合会

～ 功労者を表彰！ 老人大会 ～

5月31日（木）、山田町中央公民館大ホールにて、平成24年度「山田町老人大会」が開催されました。第1部では、表彰式典として多年にわたり老人クラブ活動に貢献された方々、24名が表彰され、第2部では、演芸大会を開催、歌に踊りにと日頃の練習の成果を披露しました。

身体障害者協議会

～ 見事1位を獲得！ スポーツ大会 ～

6月2日（土）、盛岡市で、「平成24年度第14回岩手県障がい者スポーツ大会」が開催されました。町身体障害者協議会から選手、応援団が6名参加、フライングディスクの競技に出場、見事1位を獲得しました。

当日は、晴天で気温も高くなりましたが、体調を崩す方もなく無事に大会を終えました。

民生児童委員協議会

研修会で資質向上を図る

山田町民生児童委員協議会では、地域福祉の中核的役割を果たす民生児童委員の事業推進のため、先駆的事業に取り組んでいる民生児童委員協議会または福祉施設を視察研修し、事業内容および施設運営と委員相互の交流を図ることを目的に年に一回研修会を開催しています。今年度は、7月20日～21日に秋田県へ施設等の視察研修を行い、また、懇親会では、会員同士の情報交換、交流の場となりました。

母子福祉協議会

料理で親睦を深める

7月29日（日）、母子福祉協議会の会員19名が参加し、山田町中央コミュニティセンター調理室にて、趣味講座「料理教室」を開催しました。

この日は「お盆にむけてのおもてなし料理」をテーマに肉みそジャジャ麺・やさい手巻き・スープ・麦ようかんを調理、交流会では、美味しい料理と楽しい会話で親睦を深めました。

手をつなぐ親の会

フライングディスクで「楽しい」を満喫！

7月21日（土）、山田町中央公民館2階小ホールにて、手をつなぐ親の会のお楽しみ会が開催され、手をつなぐ親の会会員、はまなす学園・グループホームきぼうの職員・利用者100人余りが参加し、障がい者フライングディスク協会の方を講師にフライングディスクを楽しみました。

ありがとうを伝えたい

第2弾

千年に一度と言われている大津波。この大災害により、教えられた事が数多くあります。…が、一つは表現のしようのない恐ろしさ。一つは皆様方の温かいご支援・ご援助・人間…（人としての心の在り方を教えて頂きました。）

行政の対策本部を中心とし、自衛隊・公的支援団体・各ボランティア団体等…私は、幸いにして住居の流失のみの被害で済みましたが、ライフライン等が全て被災者と同じ状態にありながらも自分を顧みず、被災者の為にと一生懸命に…只々頭の下がる思いでした。

感謝の意を万分の一でもと思い、記載させて頂きました。心より御礼申し上げます。今後も笑顔で元気に頑張ります。

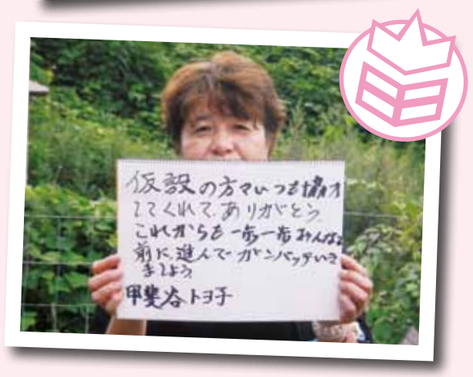
大町　官教　様

震災後1年以上経ち、落ち着いて来ましたが、今でも震災当時を思い出すと涙が出ます。

又、今まで励ましのお言葉やご支援を下さった皆様、本当に有難うございました。

完全な復興はまだまだ先ですが、家族全員で前向きに一歩ずつ進んで行きたいと思いますので、今後も温かく見守って頂きたいと思っております。

匿　名　様



時雨之化（じうのか）の如し

6月の末頃、旧恵風園より少し山側に上がった畑の片隅の広場で笑顔で優しく話しかけ、沈みかけている時の気分を柔らかく温かくしてくれた社協の女性スタッフ2名の言動・行動に厚く感謝を致します。

※ 時雨之化：程良い時に降る雨が万物を潤す。又は、君子の恵みが万民を潤す。

横　田　様

震災を受けている方々に対して傾聴活動は、今が大切な時です。この事を全国に広げる為にＮＰＯ法人（64団体）の傾聴ボランティアを立ち上げた鈴木理事長に大変感謝致します。

私は、当地域でもこの知識は、お互いの絆づくりに必要と思い、人の話を聴いて、絆の大切さを身に沁みている有様です。傾聴は、アイコンタクトと言い、相手の目を見て笑顔で頷いて、相手の気持ちに寄り添うのが基本です。とにかく、会話をして気持ちと気持ちを絡み合わせて助け合う事が大切だと思います。

福士　寛　様

ただ家が残っただけで心細い私に、お声を掛けて下さった皆様、お力添え下さった皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

特に言葉では言い尽くせない程のご支援を頂いた妹夫婦の存在の有難さを身に沁みる程、感じております。本当に有難うございました。

匿　名　様

福 祉 基 金

善意のご寄付ありがとうございました

会長　佐藤　実

基金の果実による資金は、山田町民全体の地域福祉増進のため、有効に活用させます。平成24年4月1日から平成24年7月23日まで、次の方々から福祉基金として、ご寄付をいただきました。

○ 個人・団体からの寄付金　○ 香典返しやお祝い
○ 催し物による収益金　等

寄付金

◆のんびり会様	157,599円
◆匿名様	5,000円
◆匿名様	4,681円
◆匿名様	1,517円
◆三陸沿岸芸能振興会 会長　奥泉 雲城 様	20,000円

平成24年度 累計額　**187,280円**

ありがとうございました

山田町社会福祉協議会 お問合せ一覧

[社協全般に関することなら…]　総務課

・事務局　82−3841
　090−3123−6208（携帯）

[介護保険に関することなら…]　介護保険課

・ケアマネージャー　82−5687
・ヘルパー・入浴車　82−4000

山田町保健・老人福祉センター
（住所：山田町八幡町3−20）

[地域福祉に関することなら…]地域福祉課

・生活支援相談員　77−3260

お楽しみバス「まぢづけぇ号」
カフェ「よりあいっこ」
親子カフェ「TANNA」
折り紙教室
健康教室「さわやかさん」
山田料理アカデミー
広報誌「福祉のひろば」

お問い合わせ先
090−1492−6874（携帯）

[ボランティアに関することなら…]

・復興支え愛センター　77−3262

配食サービス
思い出写真展
情報誌「気がるにボランティア」

山田町社協生活支援センター（旧山田病院3階）
（住所：山田町八幡町12−9）

お気軽にお問合せ下さい！

山田料理アカデミー

レシピ紹介

山田町社会福祉協会では、味の素㈱様の協力をいただき、男性を対象に浦の浜仮設住宅集会所で月に1回、料理教室を開催しています。そこで実際に調理を行った簡単レシピを紹介します。

包丁も火も使わない！

キャベツの海苔じゃこ合え

（材料2人分）

・キャベツ（レタスでもよい）	2～3枚
・焼き海苔	1／2枚
・しゃこ（しらす）	20ｇ
・めんつゆ（2倍濃縮）	大さじ1
・ごま油大さじ	大さじ1／2
・いりごま	少々

（作り方）

① キャベツを一口大にちぎる。
② 焼き海苔をちぎる。
③ ボールに全ての材料を入れて合える。
④ 器に盛り付け、ごまをかける。

ボールを使わずに、ビニール袋に全ての材料を入れて合えれば洗物が減り、節水になります。

・計量スプーン小さじ(5cc)は…
ティースプーン約2杯分
・計量スプーン大さじ(15cc)は…
カレー用スプーン約2杯分

ひとりごと

女性の皆さんの永遠のテーマは、いつの時代も「ダイエット」！色々なダイエット方法が流行しますが、どれも挑戦するが、どれも続けられない！そんな私達女性がもっとも恐るべき食欲の秋がやって来ます。それなのにもうすでに秋の味覚に期待しています。こんな私でもこの「福祉のひろば」の作成では、良いものに仕上げようと身も細る思いで奮闘しています。

今号でも取材に快く応じていただいた方々に感謝します。ありがとうございました。（の）